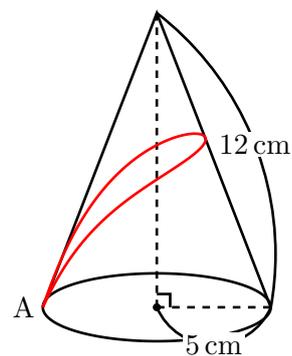


図のように、底面の半径が 5 cm 母線の長さが 12 cm の円錐があります。点 A から円錐の側面を最も短い道で 1 周し点 A にもどる曲線で側面を 2 つの部分に分けます。面積が大きいほうは、 cm<sup>2</sup> です。ただし、円周率は 3.14 とします。



〔開智中〕